

(別紙2)

山ノ内町議会懇談会実施結果報告書

日 時	令和 8 年 5 月 25 日 (月) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
場 所	役場 401 会議室 (参加者数 14 人)
協 力 団 体	部落解放同盟中高地区協議会
議員役割分担	司会進行 高田佳久 記録者 畔上恵子 (出席議員) 白鳥金次・小田孝志・小林克彦・渡辺正男・徳竹栄子・塚田一夫・湯本るり子
次第(担当者)	1. 開会 畔上恵子 2. あいさつ (1) 社会文教常任委員長 高田佳久 (2) 部落解放同盟中高地区協議会 高橋正男 3. 自己紹介 4. 懇談事項 資料説明(協議会事務局 井上賢一) (1) 部落差別の現状について (2) その他
主な質疑内容	質問(議員) ⇒人権侵害・差別事象発生報告書の内容で電話をかけてきた年齢層は。 回答(協議会) ⇒70代位 質問(議員) ⇒子どもたちに伝えるべきこととして、大切なことは。 回答(協議会) ⇒差別に負けないことを意義づけたいが、なかなか難しい。 質問(議員) ⇒若い世代へ継承するには、どんな工夫が必要か。 回答(協議会) ⇒50歳前後の人たちは興味がないため、年代に合わせたテーマが大事。 質問(議員) ⇒以前は地区で勉強会などを通じて認識をしていたが最近は行われていない。 回答(協議会) ⇒年に1回程度、地域毎に開催しているが地域差があり、地区によっては若い世代の女性も参加している。 質問(議員) ⇒土地の問題に関しては、必ず部落問題が生じる。 回答(協議会) ⇒部落差別で問題となるのは、結婚問題が高い「カベ」となっている。これが解決すれば差別はほぼ無くなるのではないか。

主な意見提言	要望（議員）⇒AIに「部落差別とは…」と聞いてみるのもいいのでは。 要望（協議会）⇒県の「人権尊重の社会づくり条例（仮称）」を制定した後に、山ノ内町の既存条例を実効性のあるものに見直しを山ノ内町議会で検討・協議をしてほしい。
その他反省事項等	特になし